

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成27年4～6月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイアイ7）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA

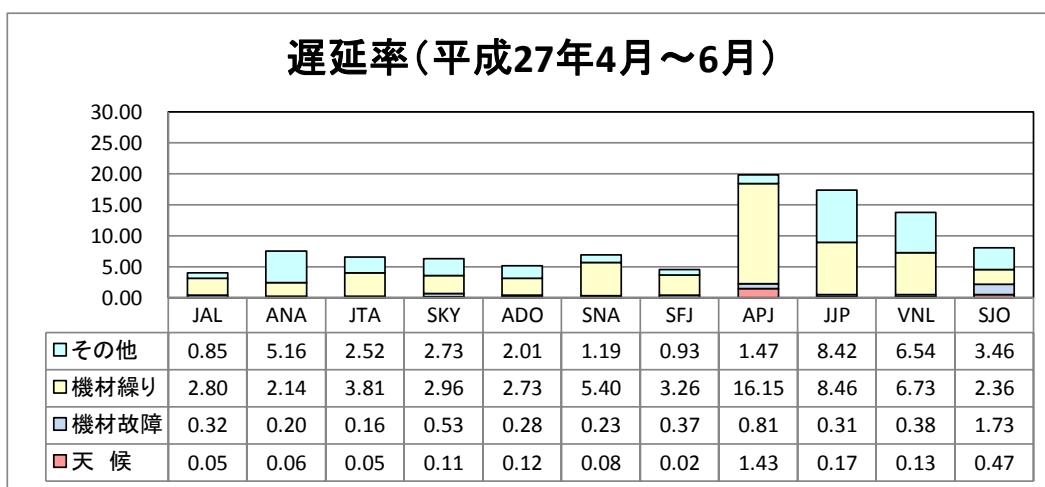
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- ハネーライア：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- ※SJOは2014年8月1日から運航開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（平成27年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
7.08%	7.85%	0.77ポイント減少

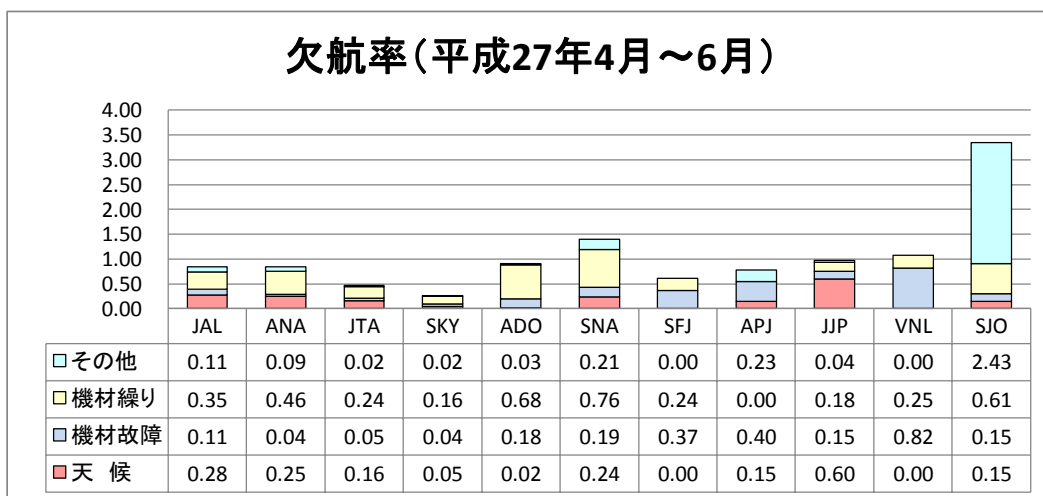
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

（2）欠航率（平成27年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.83%	0.48%	0.35ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成27年4月～6月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	927km	917km	1.09%増
輸送人員	2156万6086人	2128万6270人	1.31%増
輸送人キロ	199億8698万人km	195億2662万人km	2.36%増
旅客収入	2963億0百万円	2874億12百万円	3.09%増
輸送人員あたり 旅客収入	13.7千円	13.5千円	1.48%増
輸送人キロあたり 旅客収入	14.8円	14.7円	0.68%増

(2) 路線別データ（平成27年4月～6月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	205万6356人
2位	東京＝福岡	189万7079人
3位	東京＝大阪	127万1466人
4位	東京＝那覇	110万7965人
5位	東京＝鹿児島	50万8064人
	全路線	2129万2737人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	札幌＝那覇	91.4%
2位	成田＝関西	87.3%
3位	那覇＝岡山	86.9%
4位	関西＝仙台	84.1%
5位	那覇＝宮古	81.3%
	全路線	63.7%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京＝大島	10.8%
2位	関西＝旭川	22.9%
3位	神戸＝米子	28.1%
4位	宮古＝石垣	35.1%
5位	関西＝函館	36.5%
	全路線	63.7%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成27年4～6月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きにきた予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	3.02人	2.41人
②	全日本空輸	2.17人	1.95人
③	スカイネットアジア	1.56人	0.44人
	全社平均	1.58人	1.81人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

（URL）http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html